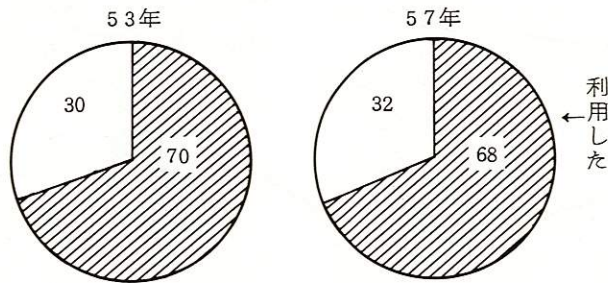


6. 公 共 施 設

6-1. 市公共施設の利用率 …… 利用率68%

19. [リスト15呈示] あなたは、最近1年間で、このような市の公共施設を利用したことがありますか、それともありませんか。

19-1. (「ある」と答えた人へ) 利用した施設名をいくつでもあげてください。(M.A.)



(表6-1)

	N	利用 した %	利用 しな い %	市 民 会 館	中 央 公 民 会 館	地 域 分 会 館	福 祉 会 館	中 央 図 書 館	市 民 体 育 館	市 営 プ ール	テ ニ ス コ ー ト	野 球 場	(ソ フト ボ ール 場) 公園・児童遊園	健康 セン ター	学校 の体 育館 庭
				%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
市 全 体 (797)		68	32	33	16	14	23	16	21	5	9	25	11	9	
(地 域)	A 熊川・内出・福東他 (99)	71	29	32	19	10	21	21	23	7	7	30	9	8	
	B 鍋1・鍋2・富士見台他 (148)	64	37	29	20	16	22	12	19	5	12	18	14	12	
	C 南北田園・志茂1他 (90)	<u>79</u>	21	<u>41</u>	18	13	29	23	24	7	11	<u>44</u>	18	12	
	D 熊牛・牛1・牛2 (63)	64	37	<u>44</u>	11	16	27	11	14	2	10	11	3	3	
	E 志茂2・本町7・原ヶ谷戸 (117)	65	35	36	10	16	23	15	20	5	6	21	9	8	
	F 永田・本町1・加美2他 (148)	65	35	29	13	13	15	14	18	4	7	23	7	11	
	G 本町8・武蔵蔵台1他 (132)	71	29	26	17	15	26	16	26	2	11	29	17	8	
	団 地 ブ ロ ッ ク (130)	<u>77</u>	23	29	15	5	28	22	26	3	11	32	19	8	
男	2 0 代 (70)	74	26	31	11	7	21	<u>24</u>	13	7	16	21	4	6	
	3 0 " (127)	<u>80</u>	20	<u>37</u>	15	9	26	16	<u>36</u>	8	<u>21</u>	<u>46</u>	<u>20</u>	<u>15</u>	
	4 0 " (96)	70	30	30	<u>25</u>	14	28	16	31	3	17	21	6	12	
	5 0 " (67)	63	37	<u>42</u>	12	24	10	16	9	2	8	9	2	5	
	6 0 以上 (50)	58	42	26	12	<u>28</u>	12	12	4	—	—	20	4	8	
	2 0 代 (65)	74	26	22	14	9	23	12	15	8	6	31	12	6	
女	3 0 " (108)	<u>82</u>	18	<u>37</u>	<u>25</u>	12	<u>37</u>	18	<u>42</u>	5	3	<u>47</u>	<u>30</u>	<u>15</u>	
	4 0 " (92)	66	34	<u>37</u>	14	15	<u>33</u>	<u>24</u>	16	7	4	12	13	13	
	5 0 " (72)	39	61	25	7	11	7	6	1	1	1	4	—	1	
	6 0 以上 (50)	46	54	28	12	<u>26</u>	4	6	2	—	2	12	2	—	
男 性	(410)	71	29	34	16	15	22	17	<u>23</u>	5	<u>14</u>	27	9	10	
女 性	(387)	64	36	31	16	14	24	15	19	4	3	24	<u>14</u>	9	

市民会館、地域会館、市営プールなど市の各種公共施設をこの1年間に利用したひとは約7割(68%)である。施設別の利用度*は市民会館(33%)、公園・児童遊園(25%)、中央図書館(23%)、市営プール(21%)、市民体育館(16%)、地域会館(16%)、福祉会館(14%)、健康センター(11%)、学校体育館・校庭(9%)、野球場(9%)の順である。

* (注)

20歳以上成人の利用度である。昭和57年4月1日現在の20歳以上成人は34,073人(住民基本台帳による)であるので、本調査での1%の推定実数は340人となる。ただし、同一人が一年間内に反復利用しているため、利用者の延数は推定反復利用数を乗じなくては実数はでない。

利用者を地域別、男女別、男女・年齢別、ライフステージ別、男女・職業別に分析した結果、つぎの点が明らかとなった。

- (1) (地域差) …… 全般的に地域差は大きくなく、施設の所在地が市民の住所から利用しやすい場所にあることを示している。どれかの施設を利用したひとの割合はCブロック(南北田園・志茂1他)(79%)が比較的多く、また、全地域の中から集合住宅をとり出した団地ブロック(77%)でも多いが、これはCブロック(南北田園・志茂1他)や団地ブロックで、施設利用ニーズの多い人生段階がとくに多いことが影響していると考えられる。市民会館(中央公民館)の利用者ではDブロック(熊牛・牛1・牛2)(44%)が多いが、これは場所の近いことが原因していると思われる(表6-1)。

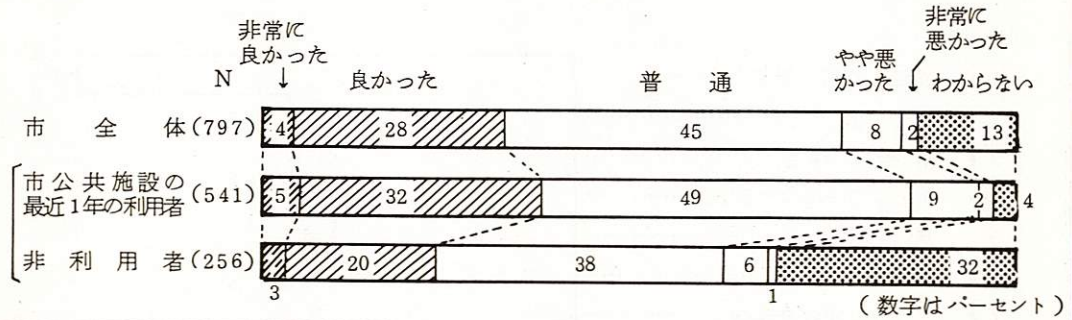
(表6-2) ライフステージ別、男女・職業別にみた「市公共施設の利用度」

N			利 用 し た %	利 用 し な い %	市 民 会 館 (中 央 公 民 館)	地 域 会 館 (公 民 館 分 館)	福 祉 会 館	中 央 図 書 館	市 民 体 育 館	市 営 プ ール	テ ニ ス コ ー ト	野 球 場 (ソ フト ボ ー ル 場 を 含 む)	公 園 ・ 児 童 遊 園	健 康 セ ン タ ー (休 日 診 療 所)	学 校 体 育 館 庭
市 全 体 (797)			68	32	33	16	14	23	16	21	5	9	25	11	9
独 身 期 (90)			66	34	↓28	↓11	9	↓17	↓14	↓17	8	12	13	2	6
家族形成期 (164)			82	18	↓29	↓13	7	↓27	↓14	↓23	7	10	45	25	3
家族成長前期 (176)			85	15	44	27	15	40	24	46	6	15	43	19	24
家族成長後期 (83)			70	30	↑35	↑18	18	↑29	↑23	↑22	6	15	15	6	17
家族成熟期 (154)			53	47	33	14	↓15	14	12	6	1	1	7	3	3
老 齡 期 (43)			47	54	26	5	26	2	12	5	—	2	19	5	5
老 人 世 帯 (33)			61	39	27	21	33	9	6	3	—	—	18	—	3
男性	自 営 者 (89)	76	24	42	17	20	24	15	19	2	12	23	7	16	
	事 務 職 (167)	77	23	37	17	16	26	20	25	8	15	37	13	13	
	労 務 職 (125)	66	34	27	12	8	14	14	25	1	16	17	8	5	
	無 職 (29)	48	52	24	21	17	17	14	14	7	10	21	—	—	
女性	自 営 者 (39)	67	33	44	13	23	18	23	23	5	5	26	13	13	
	事 務 職 (74)	68	32	38	16	8	26	15	15	5	4	27	12	11	
	労 務 職 (72)	60	40	22	10	18	25	14	21	4	3	19	8	8	
	専 業 主 婦 (163)	71	29	32	20	10	28	16	22	5	3	28	20	8	
	無 職 (39)	39	62	18	8	23	5	—	5	—	3	5	3	3	

- (2) (男女差) …… 集会施設については男女差があまりなく、体育施設では市営プール(男性23%>女性19%)と野球場(男性14%>女性3%)で男性の利用が多く、健康施設(健康センター)では女性の利用(男性9%<女性14%)が多い(表6-1)。
- (3) (男女年齢差) …… 男女ともに30代利用者の多いのが第一の特徴であり、全体で見ると男性30代80%、女性30代82%と8割のひとが利用している。利用者は男性の場合、30代の80%を頂点として40代70%、50代63%、60歳以上58%と徐々に下降しているのに対して、女性の場合は、30代の82%、40代の66%から50代ではいっきょに39%へ急落し、60歳以上は福祉会館利用者などで46%へ上っている。したがって、50代の女性層が公共施設に出不精であることが第二の特徴といえる(表6-1)。施設別の最大利用層を年齢の視点から捉えてみると、市民会館(中央公民館)は男性50代が42%の利用度であって非常に多い。しかし、女性30・40代でも37%が利用している。地域会館は男性の40代(25%)がよく利用するのに対して、女性では10歳若い30代(25%)がよく利用している。福祉会館は男女ともに60歳以上の高年層がよく利用し、男性(60以上)28%、女性(60以上)26%である。中央図書館は女性30代(37%)・40代(33%)の利用が最高であり、男性の利用を大きく上回っている点が注目される。市民体育館は男性では20代(24%)、女性では40代(24%)がよく利用しており、利用層がちがう。市営プールでは男女ともに30代がよく利用しているが、30代については男性(36%)よりも女性(42%)の方が多い。野球場は男性の独壇場であり、とくに30代(21%)が多い。公園・児童遊園は男女ともに30代が多く、男性46%、女性47%と接近している。健康センター(休日診療所)は男性30代の20%に対し、女性30代が30%と上回っている。学校体育館は男女ともに30代が多く、15%の同率である(表6-1)。
- (4) (ライフステージの差) …… (表6-2)に示したとおり、家族成長前期の段階の利用者が圧倒的に多いことが第三の特徴である。福祉会館(最頻利用層は老人世帯)と健康センター(最頻利用層は家族形成期)とを除くと、他施設はすべて家族成長前期が最頻利用層である。年齢でみた場合は、30代あるいは40代と男女でちがうこともあったが、人生段階で一括してみると、ほとんどが家族成長前期に集中している。この段階は第一子が小学校(中学校)に入学し、多少子どもにも手がかからなくなり、余暇時間が生ずる時期である。また、子どもの交友を通じて、親の地域交流が始まるときであり、施設のグループ利用の始まるときでもある。
- (5) (男女・職業の差) …… 職業差はあまりなく、年齢やライフステージにみるような顕著な傾向がない。強いていえば、男女ともに自営者(家族従業者)の利用がやや多いという程度である(表6-2)。

6-2. 市役所・市の施設の職員サービス …… 「悪かった」9%

20. [リスト16呈示] この1～2年の間に、あなたが市役所や市の公共施設にいったとき、職員のサービスは全般的にどうでしたか、良かったですか、それとも悪かったですか。

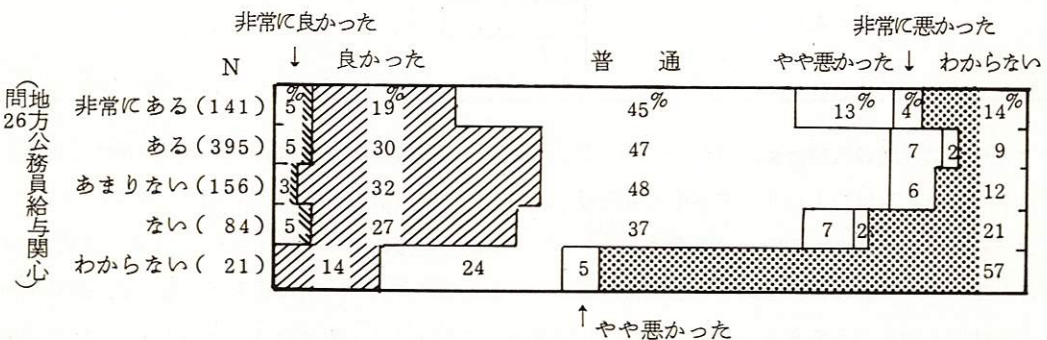


市役所、市の公共施設での職員サービス（最近1～2年間）については、「良かった」が32%（その内「非常に良かった」4%）、「普通」が45%であり、約8割（77%）が肯定的評価をくだしている。一方、批判的評価は9%あるが、内訳は「やや悪かった」7.8%、「非常に悪かった」1.6%となっている。また「わからない（いったことがないのでわからない）」は13%となっている。

最近1年間に市の公共施設（問19の施設、市役所は含まれない）を実際に利用した市民の評価は、利用しなかった市民よりも良くなっており、「良かった（非常に良かった）」が利用者37%に対して、非利用者では23%に下がっている。

後述質問（問26）、「地方公務員の給与問題」に関心のあるひとに限定してみると、「非常に関心がある」ひとの評価はきびしく、職員サービスが「良かった」は24%（図6-1）に下がり、「悪かった（非常に悪かった）」は17%に増えている。このことは、税金の使途に強い関心をいなくひとは、公務員の執務態度についても厳正な要求をしているとみることができる。

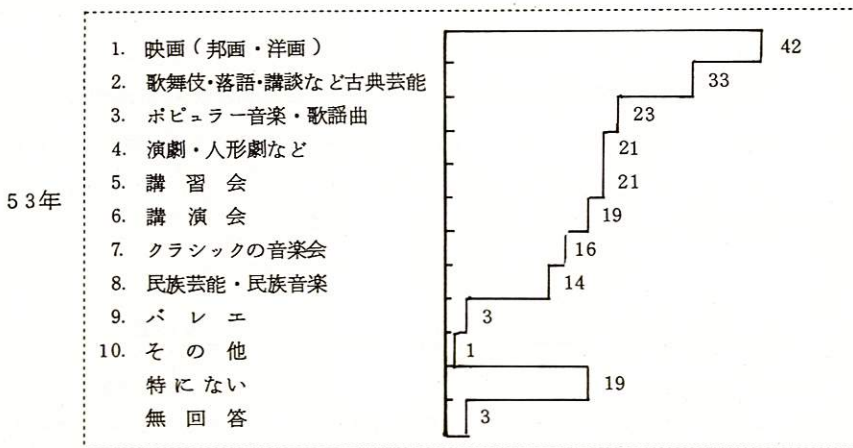
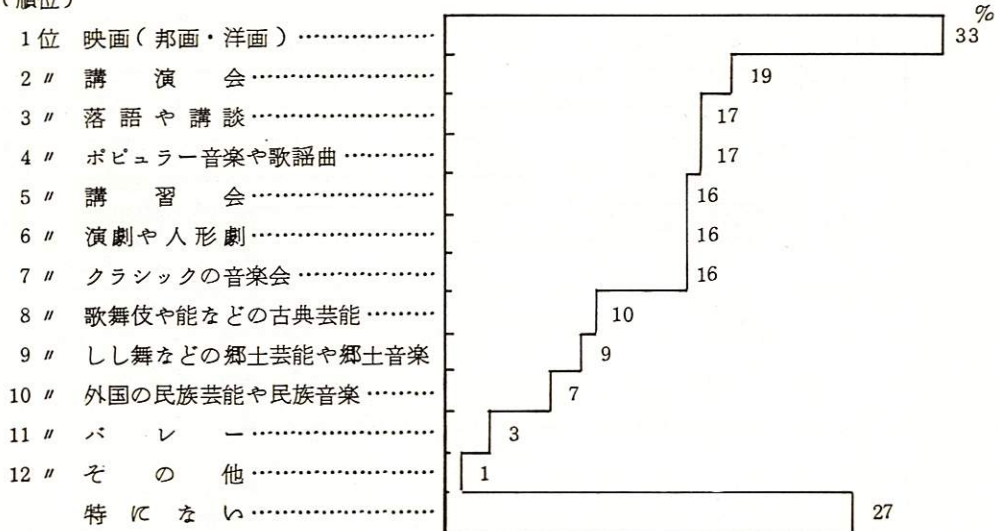
（図6-1） 地方公務員給与問題の関心別にみた「職員サービスの評価」



6-3. 市民会館・公民館での行事の希望 …… 1位「映画」

21. [リスト17 呈示] 市民会館や公民館では、いろいろな行事を行っていますが、あなたが特に希望するものがありましたら、3つ以内をあげてください。(M.A.)

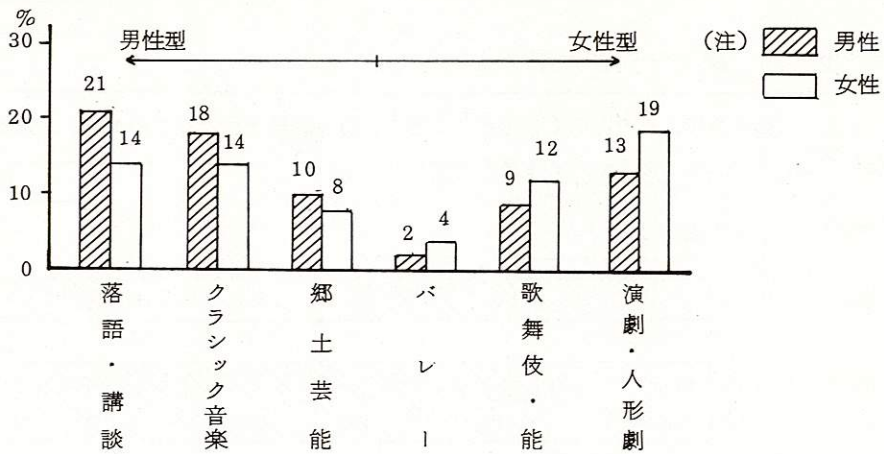
(順位)



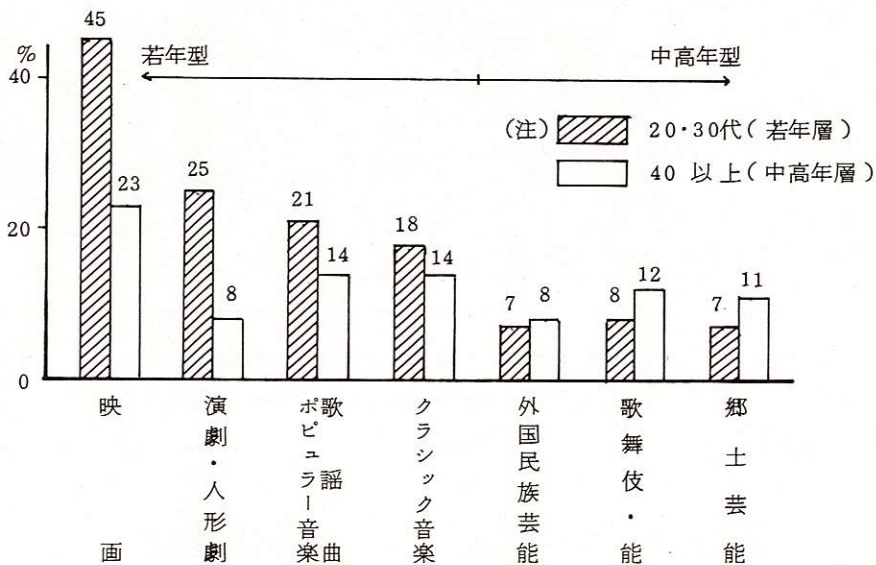
市民会館・公民館の希望行事は前回(53年)調査と同様、「映画(邦画・洋画)」が飛び抜けた支持(33%)を得ている。2位以下は6行事が小差で接近しており、「講演会」19%、「落語や講談」17%、「ポピュラー音楽や歌謡曲」17%、「講習会」16%、「演劇や人形劇」16%、「クラシックの音楽会」16%などと続いている。なお、質問の行事項目が違っているために前回(53年)調査との厳密な比較は困難であるが、前回9項目のうち6位の支持にあった「講演会」が今回は11項目のうち上位2位の支持に躍進したことが大きな変化といえよう。

希望行事のうち、男性の支持が女性の支持を上回るものは「男性型」行事、その反対は「女性型」行事と考えられるが(図6-2)、男性型は「落語・講談」「クラシック音楽」であるのに対して、女性型は「演劇

(図6-2) 男女別にみた「希望行事」



(図6-3) 年齢別にみた「希望行事」



人形劇」や「歌舞伎・能」などとみられる。また、若い層(20・30代)の支持が高年層(40歳以上)を上回るものを「若年型」行事、その反対を「中高年型」行事と考えることができるが(図6-3)、「若年型」の行事は「映画」「演劇・人形劇」「ポピュラー音楽・歌謡曲」とみられるのに対して、「中高年型」の行事は「歌舞伎・能」や「郷土芸能」とみられる。「若年型」にも「中高年型」のどれにも属さない「講演会」「講習会」は、30代・40代の支持が多く「壮年型」とでもいうべきタイプである。